

令和3年度事業計画

1 概況

シルバー人材センターの事業は、村内の高齢者が就業を通じて、生きがいの充実と、福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに貢献することにあります。

定年制延長制度の普及が徐々に定着し、65歳から70歳に延びることも想定され、第一線で就業される時間が長くなる状況は、今後益々拡大していくものと考えられます。シルバー人材センターでは、「請負・委任」からスタートしており、今後もこれが中心事業であることに変わりませんが、社会の変化に対応して事業の幅を広げるためには「派遣」が必要となっております。また、少子高齢化の進展等による家事援助サービス等の需要拡大、植木剪定の専門職の後継者不足など、環境の変化に柔軟、迅速、的確に対応していくことが喫緊の課題となっております。

センターでは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、「新規入会会員の拡大」「就業機会の拡大」を目指して現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献するとともに、適正ガイドラインを遵守し、地域社会の維持・発展と就業意欲の高い高齢者の受け皿としての役割を会員・役職員が一丸となり力を合わせて取り組んでまいります。

II シルバー人材センター事業

1 事業目標

・会員数	185名
・事業収益	113,300千円
・就業率	90%

2 就業開拓提供事業

- ・就業機会の確保、拡充を図るために村内の行事等にも参加しシルバー人材センターの認知度を高めることに努めます。
- ・継続的な受注については良好な関係を作りながら多くの会員が就業できるように努めます。
- ・労働者派遣について国の適正就業の指導強化を踏まえ公共団体、民間事業所との打合せを行い派遣事業を推進します。

3 調査研究事業

- ・役職員研修に参加します。
- ・会員さんへの仕事依頼の方法、やり方について他シルバーと比較し美浦シルバー人材センターのやり方を検討します。

4 相談事業

- ・入会を希望する60歳以上の方にセンターの仕事内容や、入会の仕組みについて入会就業相談を行ないます。
- ・会員さんに対して就業相談を行ないます。
- ・退会を希望する会員さんとの話し合いを行います。

5 研修・講習事業

- ・各種研修
安全適正就業に関する知識の向上を図るため、茨城県シルバー人材センター連合会が主催する研修会に参加します。
- ・技能講習
発注者のニーズの高い依頼に対応するため、剪定、刈り払い機等の講習会を開催します。

6 普及啓発事業

- ・センター広報誌の発行
会員向けと公共施設に配布シルバー人材センター事業の拡充に努めます。
- ・事業・会員募集併用したチラシ、新聞折り込み配布にてPR活動
- ・会員の紹介による入会促進
会員の協力を頂き、口コミにより会員の拡充を図ります。
- ・啓発用ティッシュ、グッズ等の配布

7 安全・適性就業推進事業

- ・安全就業の推進
安全対策を実施し事故ゼロを目指します。
- ・安全パトロールの実施
安全就業に対する意識の向上を図る為、委員会による安全パトロールを実施します。
- ・事故防止の対策
安全保護具着用を徹底します。(ヘルメット、安全メガネ、安全ベルト)
現場ごとに注意点の伝達を行い事故ゼロを目指します。

8 会員同士の交流について

- ・普段の仕事では会わない会員さん同士が交流を深められるレクリエーション又は日帰り旅行などの企画を行い楽しいセンターづくりを目指します。

Ⅲ 法人管理事業

- 1 理事会・総会の開催
- 2 総務委員会、安全・適正就業委員会、業務推進委員会の開催
- 3 茨城県シルバー人材センター連合会の研修会への参加
- 4 シルバー人材センター県南ブロック協議会の研修会への参加